



豊富なインターフェースからの入力をLTE回線でクラウドに送信する省電力データロガー

アナログ入力はもとより、RS-232C、RS-485、接点入出力等の各種インターフェースを搭載し、各種センサー・計測装置を接続するための設定があらかじめセットされています。内蔵のLTE通信モジュールを介してクラウドと連携することで、センサー・計測装置から収集したデータのクラウド管理や現地設備の遠隔制御が可能です。

モバイルルーターとロガー機能を一体化することで本体サイズをダウンし、シンプルな機器構成が可能。

待機時の消費電力を0.3Wに抑えることにより、ソーラー電源での長期間の稼働を実現。

豊富なインターフェースを搭載し、1台でも様々な遠隔計測・制御に対応。

衛星電話サービス「ワイドスター」のモデムとダイレクトに接続し、データ通信が困難な場所での利用が可能。

仕様

OS	Linux (Kernel 3.13以降)	
CPU	テキサスインスツルメンツ社 Sitara AM3352 (ARM Cortex-A8 core) 1GHz(300MHz~1GHz自動切替)	
メモリ構成	NAND FLASH 256MB、DRAM 512MB NOR FLASH 2MB、EEPROM 2kbyte	
インタフェース	Ethernet	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 2ポート RJ-45 コネクター
	通信モジュール	DLX-400-KLAD:KDDI LTE(KYM11) DLX-400-NLAD:NTTドコモ 3G/LTE(AMP520)
	シリアル	RS-485 (Male) × 1、RS-232 (Dsub9) × 1 RS-232 (RJ-45) × 1
	USB	USB 2.0 ホスト × 1ポート (TYPE-Aコネクター)
	アナログ入力	絶縁型アナログ入力ポート × 4 ※ 分解能 16bit、電圧/電流モード切替
	デジタル入力	接点入力 × 8 ※電圧接点入力/無電圧接点入力、フォトプラー 絶縁
	リレー出力	フォトMOSリレー出力 × 4

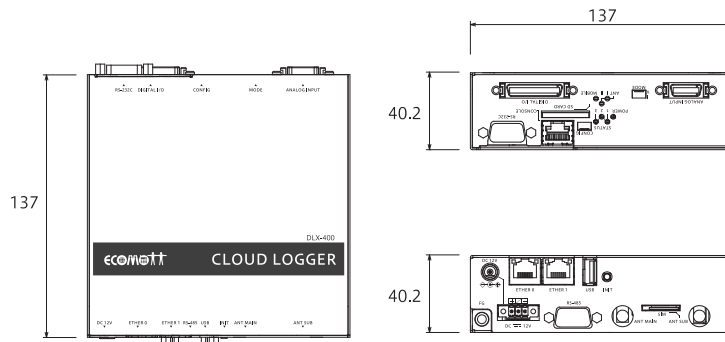
SDカードスロット		SDHC対応 SDカード 1スロット
外観	外形寸法	137(W)×137(D)×40.2(H)mm (突起部除く)
	質量	約700g
環境条件	使用電源	DC +12V ※ DCジャック(EIAJ4,φ5mm)
	電源形状	3pinスプリング接続式コネクター
	消費電力 (本体のみ)	スリープ時:0.36W、待機時:2.4W 最大負荷時:8.9W
	使用周囲温湿度	温度:-20°C~40°C (CPU 1GHz) -20°C~50°C (CPU 300MHz) 湿度:20~90% (結露しないこと)

※ 本製品はアンテナが別途必要になります。アンテナはP59参照。

オプション



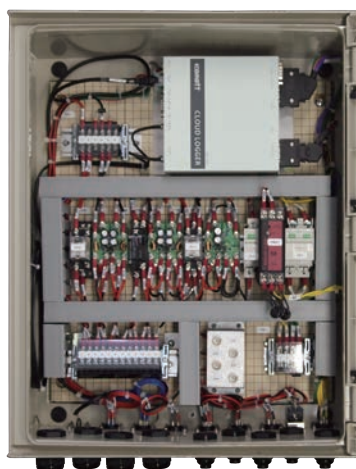
外形図 (mm)



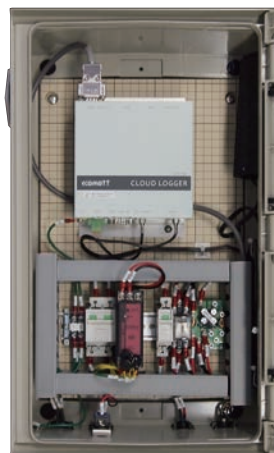
クラウドロガーLTEの新機能

DLX-400	LTE	モバイル	クラウド接続/メール送信
	LAN入力	IP	ネットワークカメラ/衛星モデム
	リレー4ch	リレー接点出力	カメラ制御/回転灯等
	DO4ch	オープンコレクタ出力	スイッチ/LED制御等
	DI8ch	接点入力 パルス入力	ワイヤーセンサー等 雨量計等
	AI4ch	アナログ入力 (0-5V/4-20mA)	水位計/風向風速計 伸縮/傾斜/pH/濁度計等
	RS-232C	シリアル入力	地震計等
	RS-485	Modbus入力	振動計等
	電源入力	DC12V	ACアダプタ/ソーラー電源

クラウドロガーLTE 収納伝送盤



クラウドロガーLTE 伝送盤 CMS-510



クラウドロガーLTE 伝送盤 VMC-100A